

ドライブレコーダーおよび視線計測装置を活用した ドライバーの身体・認知機能に関する実証実験を2020年2月から開始 ～より安心・快適な運転の実現に向けて地域とチャレンジ～

豊田市つながる社会実証推進協議会（以下「本協議会」）に参画する、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三、以下「あいおいニッセイ同和損保」）、および株式会社JVCケンウッド（社長執行役員 CEO：江口 祥一郎、以下「JVCケンウッド」）の2社は、SDGs未来都市・愛知県豊田市（市長：太田 稔彦、以下「豊田市」）とともに、ドライブレコーダーおよび視線計測装置を活用したドライバーの身体・認知機能に関する実証実験を2020年2月から豊田市内で開始します。

交通事故全体件数の7割が安全運転義務違反によるものであり、そのうち、運転操作不適、漫然運転、動静不注視といった身体・認知機能に起因するものも多くあると言われています。近年では、身体・認知機能に起因すると思われる高齢ドライバーの事故がメディアで頻繁にとりあげられており、日常の運転時から、ドライバー本人の状態と運転の状況を把握・評価することで、身体・認知機能低下の兆候を早期に認識する機会を提供できれば、安全・安心なモビリティ社会の実現の一助となることが期待されます。

あいおいニッセイ同和損保では、これまでに通信機能付きドライブレコーダー（JVCケンウッド製）を活用したテレマティクス自動車保険^{※1}を提供し、交通事故の未然防止に寄与しております。また、JVCケンウッドでは、同社開発の視線計測装置「Gazefinder（ゲイズファインダー）」を活用した認知機能検査技術を蓄積してきております^{※2}。

あいおいニッセイ同和損保およびJVCケンウッドは、AI・IoT・ビッグデータなどの先進技術の実証・実装により、持続可能な都市づくりを目指す本協議会へ参画し、各社のリソースおよび本協議会の実証事業の枠組みを活用した実証実験を行い、地域と企業の協働による「より安心・快適な運転の実現」に挑戦してまいります。

- （※1）JVCケンウッド製の通信機能付きドライブレコーダーを活用したテレマティクス自動車保険：「ささえるNAVI Lite」、「タフ・見守るクルマの保険（ドラレコ型）」、「タフ・見守るクルマの保険プラス」
- （※2）認知症の早期診断に向けた認知機能検査技術に関する研究を国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科 武田朱公寄附講座准教授らの研究グループと実施

〈実証実験の概要〉

- （1）あいおいニッセイ同和損保、JVCケンウッドおよび豊田市は、運転に必要な認知機能の気付きとなる兆候（認知状況・運転行動）の把握に向けて、ドライバーの身体・認知機能に関わる実証実験を行います。
- 具体的には、ドライバーの方に被験者となっていただき、ドライブレコーダーおよび視線計測装置「Gazefinder（ゲイズファインダー）」により、視線データ等の生体情報および自動車を運転中の運転挙動に関するデータを収集し、身体・認知機能低下に関わる兆候の分析を実施します。
- （2）3者は共同での実証実験に際して、以下のとおり連携・協力します。
- ①豊田市は、実験場所の調整、被験者の募集等、実証実験のコーディネートを行います。
 - ②あいおいニッセイ同和損保は、テレマティクス自動車保険に関わる知見・データ分析等のノウハウ等を提供します。
 - ③JVCケンウッドは、ドライブレコーダー・視線計測装置の提供、データおよびデータ分析のノウハウを提供します。



(3) 実証実験の実施日時・場所

① 非高齢者ドライバーの視線計測によるデータ収集

内 容：高齢者ドライバーとの比較のために、非高齢者ドライバーを対象として、視線計測装置「Gazefinder (ゲイズファインダー)」およびドライブレコーダーを活用した視線計測を実施する。

対象者：豊田市在住の非高齢者（20～50代）10名程度

日 時：令和2年2月25日（火）午後2時～午後5時

場 所：豊田市 元城庁舎3階 大会議室（住所：豊田市元城町3-17）

② 高齢者ドライバーの視線計測および運転状況の把握

内 容：高齢者ドライバーを対象として、視線計測装置「Gazefinder (ゲイズファインダー)」およびドライブレコーダーを活用した視線計測を実施し、かつ、私有地内（教習所）での実走により、運転状況の把握・評価を行う。

また、①で視線を計測した非高齢者ドライバーにも、私有地内（教習所）での実走により、運転状況の把握・評価を行い、高齢者ドライバーとの比較データを収集する。

対象者：豊田市在住の高齢者（75歳以上）10名程度

豊田市在住の非高齢者（20～50代）10名程度

日 時：令和2年4月20日（月）午前9時30分～午後5時

場 所：トヨタ中央自動車学校（住所：豊田市三軒町8-18）

③ 日常運転でのドライバー運転状況の検証

内 容：①②で収集したデータを踏まえ、ドライバーの公道での日常的な運転状況を検証することで、ドライバーの視線や認知機能、運転挙動の相関について分析を行う。

対象者：豊田市在住の高齢者（75歳以上）30名程度

豊田市在住の非高齢者（20～50代）30名程度

日 時：令和2年6～7月頃

<豊田市について>

豊田市は、民産学官金71団体（2019年8月末現在）により構成する「豊田市つながる社会実証推進協議会（会長：豊田市長）」にて、AI・IoT・ビッグデータなどの先進技術の実証・実装を民産学官金の共働事業として実施し、持続可能な都市づくりを目指しています。

<あいおいニッセイ同和損害保険について>

あいおいニッセイ同和損害保険は、テレマティクス^{※3}技術の活用を通じて、「安全・安心なカーライフの提供」、「安全・安心なモビリティ社会の実現」、および「お客さまの交通事故の低減」への貢献を目指しています。

また行動指針の一つに「地域密着」を掲げ、地方公共団体・地域金融機関・地域企業と連携し、各地域の地方創生推進に役立つ活動に取り組んでいます。この取り組みを通じてサステナブル(持続可能)な地域社会の発展に貢献していきます。

(※3)「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用してさまざまな情報やサービスを提供する仕組み

<JVCケンウッドについて>

JVCケンウッドは、従来型の製造販売業からお客さまの課題を解決するためのソリューションを提供する「顧客価値創造企業」への変革を図るとともに、お客さまに新たな価値を提供する次世代事業の早期事業化を推進しています。

また、当社グループでは、事業を通じて企業と社会のサステナビリティを推進すべく、当社が関わるすべてのステークホルダーと深い信頼関係を築きながら、事業を通じた社会課題の解決に取り組むことで、持続的な企業価値の向上と社会への貢献を図っていきます。

以上